

News Release

プロデュースとは何か。デザインとは何か。 コンセプトに基づき、商品・情報・空間まで全てをデザインし、成果を挙げる。 人気講座「総合デザインとプロデュース」(全5回)、11月22日開講

～農業、商業、工業、観光、地域活性化などあらゆるテーマの課題解決を担うクリエイターに学ぶ～
クリエイター(*)支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」(所在地:大阪市北区 所長:堂野 智史)は、クリエイターや経営者を対象に、講座「総合デザインとプロデュース」(全5回)を今年も11月22日(火)より開講します。同講座は、地域再生、農業、観光など、あらゆる分野でデザインの力が求められている今、プロジェクト全体を総合的にデザインし、プロデュースできるクリエイターの育成を目指して開講するもので、過去2回の実施で延べ431人が受講、毎回好評の人気講座です。

(※1)クリエイターとは、プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などを指します。

■クリエイターに求められる、プロデュース力

近年「町おこしイベントの企画運営にクリエイターの力を借りたい」「農産物の魅力を効果的に発信したい」などの相談がメビック扇町にも寄せられるなど、従来の商業的デザインの枠を超え、地域再生や農業、観光など多方面でクリエイターが求められるケースが増えています。メビック扇町は、これからのクリエイターはデザインや映像制作などの専門技術に留まらず、商品やサービスの付加価値を高め、情報発信も含めて、事業全体をプロデュースしていく力を付けていくことが重要と捉えています。



過去2回(2015年1月～2月、10月～11月)の実施で延べ431人が受講

■新たに「自己プロデュース」を最終回のテーマに設定

本講座講師は、九州を拠点に農業、商業、工業、観光、地域活性化など、多分野で地域プロデュースに関わるブンボ株式会社代表取締役 江副直樹氏。同氏が提唱する、商品(商品とサービス)、情報(広報と広告)、空間(建築と環境)という3つのデザインを、すべて同じコンセプトに基づいて全体をかたちづくる『総合デザイン』と、そのプロデュース手法をテーマにお話いただきます。計5回のセミナーでは、豊富な事例を元に、各回テーマ(ヒアリング、コンセプトメイク、商品開発、広報戦略、自己プロデュース)を設定。今年は新たに最終回のテーマを「自己プロデュース」とし、情報発信の重要性が増す中で、苦手としているクリエイターも多い「自己プロデュース」について、考える回を設けました。



2013年度 ADC賞・グッドデザイン賞 のこぎり付き弁当「日田きこりめし」

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

広報担当：松井

〒530-0025 大阪市北区扇町 2-1-7 カンテレ扇町スクエア 3F

TEL:06-6316-8780 (平日 10:00～21:30) FAX:06-6316-8781

e-mail:info@mebic.com

ホームページ: <http://www.mebic.com/>

■講座概要

対象：プロデュースする力をつけていきたいクリエイター、経営者など。

日時：2016年11月22日(火)・29日(火)・12月6日(火)・13日(火)・20日(火) 19:00～21:30(全5回)

場所：メビック扇町(大阪市北区扇町2-1-7 カンテレ扇町スクエア3F)

定員：各回25名

料金：2,000円(各回/税込)

お問合せ先：クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

TEL:06-6316-8780(10:00～21:30 土・日・祝日は休館) E-mail:info@mebic.com

※単回でも受講いただけますが、連続受講をお薦めいたします。

【講座スケジュール】

第1回：11月22日(火) 19:00～21:30

「話は半分しか聞かない。→ヒアリング」

風邪かどうかは医者が決める。クライアントの希望の半分は間違っているかもしれないことを前提とする。

第2回：11月29日(火) 19:00～21:30

「本質は何かを考える。→コンセプトメイク」

捨てるべきものと守るべきもの。文脈はあざなえる縄の如し。表に見えるものだけを尊重しないこと。

第3回：12月6日(火) 19:00～21:30

「作りたいモノを作る。→商品開発」

自分が欲しいものを作る気概。世間が何を欲しがっているかに拘泥しない。自分の欲しいものを作り共感者を増やす。

第4回：12月13日(火) 19:00～21:30

「情報を事件にする。→広報戦略」

ワクワクを込めて知らせる工夫。独りよがりの告知は届かない。関心を醸成しつつ伝えるべきを伝えるには。

第5回：12月20日(火) 19:00～21:30

「最後に自分のプロデュース。→自己プロデュース」

総合デザインとプロデュースを振り返ったら、最後に自己プロデュースも考えよう。

紺屋の白袴を返上して、徹底的な客観性を身に付ける。

【講師プロフィール】



江副直樹氏 ブンボ株式会社 代表取締役

1956年1月1日佐賀生まれ。西南学院大学法学部中退後、米穀店店員、工場作業員、釣り雑誌編集者、コピーライター等を経て、商品開発と広報計画を柱とする事業プロデュースの会社、有限会社ブンボ設立。農業、商業、工業、観光、地域活性など、多分野の多様なクライアントに対し、コンセプト重視の事業戦略提案を行う。福岡デザイン専門学校 非常勤講師。大阪芸術大学 客員教授。大分県日田市在住。

◎受賞等

2014年度 グッドデザイン賞「こうげのシゴト+みらいのシカケ」'14

2013年度 ADC賞「日田きこりめし」'13

2013年度 グッドデザイン賞「日田きこりめし」'13

2013年度 グッドデザイン賞&地域デザイン賞「淡路はたらくカタチ研究島」'13

2011年度 グッドデザイン賞及び特別賞「九州ちくご元気計画」'11

第77回 毎日広告デザイン賞 部門賞「エフコープ 09年度新聞広告」'10

第2回 建築九州賞2008 住宅作品賞「むっくハウス 唐津山 積み木の家」'09

第76回 毎日広告デザイン賞 準部門賞「エフコープ+JA 08年度協同新聞広告」'09

第24回 読売広告大賞 読者賞「エフコープ 07年度新聞広告」'08

第7回 JIA環境建築賞 優秀賞「むっくハウス 唐津山 積み木の家」'06

2006年度 経済産業省グッドデザイン賞「むっくハウス 唐津 積み木の家」'06

第55回 朝日広告賞 8月月間賞「エフコープ 06年度新聞広告」'06

■クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町について

メビック扇町は、2003年5月に大阪市経済局(現:大阪市経済戦略局)が設置し、公益財団法人大阪市都市型産業振興センターが運営するクリエイター支援施設です。2007年4月より「クリエイティブクラスター創生事業」を開始。メビック扇町では、大阪で活動するクリエイターたちが互いに知り合い、顔の見える関係を築くための新しいコミュニティづくり、大阪に集積するクリエイティブ関連企業の活性化に取り組んでいます。